

2024(R6)年 3 月 No320 (隔月発行)

## しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>【目次】

すいた環境教育フェスタ  
2024

2/3 千里リサイ  
クルプラザ館内

## 【目次】

## P2 TOPICS

### P3 各子一ム活動報告

P4-5 市民とお店をエコでつなぐPT

## P6 主担研究員コラム

## P7 市民研究所通信

P8 3・4月の予定



わたしから



## TOPIC

### 市民研究所研究実践発表会

昨年 12 月 2 日に研究実践発表会が行われ、市民研究所の 7 チームが 1 年間の活動を発表しました。普段は自分が所属するチームでの活動しかわからないため、発表会では他のチームの活動内容を知ることができ、充実した 1 日でした。特に出前講座が積極的なチームの発表は刺激になります。今年度は私が所属する【身近な環境を調べよう PT】でも出前講座を行い、1 人でも多くの子供たちに身近な環境に興味を持てるよう活動したいです。



(市民研究員 二平耕太郎)

### くるくるキッズかんきょうスクール

12 月 23 日に、最後のキッズ環境スクールが行われ、親子で「ゲット・ザ・ポイント」のカードゲームを体験しました。小学校のクラブ支援の出前講座では、4～6 年生が対象ですが、今回は 1～3 年生の子ども達なので、親子で参加していただくことにしました。ゆっくりとゲームを進めていきましたが、「カードゲームを楽しみながら SDGs が学べました。」等の感想もいただき、なんとかキッズのみんなにも、SDGs のことを伝えることができたかなと感じました。



(市民研究員 井上道代)

## プロジェクトチーム（PT）・アクションチーム（AT）活動報告

### 市民とお店をエコでつなぐ PT

チームでの作業と並行して、メンバーがそれぞれのテーマに取り組むことも始めました。環境出前講座では、久々にすごろくゲームを行い、好評でした。また「ダイソー」の㈱大創産業様とプラスチック製品や環境について話す機会を作るために、連絡を取り合っています。

### 吹田ごみゼロシステム研究 PT

2月10日（土）に吹田市の Inforest すいた（ららぽーと EXPOCITY 1 階）で雑がみによる新聞紙袋作りの環境出前講座を行いました。残念ながら新聞紙袋作りは体験していただけませんでした。が、雑がみキャンペーンのチラシは配付できました。

### 身近な環境を調べよう PT

現在6か所の池の調査を続けています。今後、さらに多くの池を調査したいと考えており、他チームや環境スクール修了生の方々にも調査に参加してもらえたらと思っています。



### SDGs 啓発 PT

定例会において、環境かるたの活用方法について意見を出し合いました。また、新たにメンバーが1名加わり、早速定例会や小学校のクラブ支援で頑張っていると思います。

### 手作りおもちゃと環境 AT

エキスポシティ内 Inforest すいたで手作りおもちゃ体験(レインボーコマ)を実施しました。昨年よりも盛況でした。新作のコマがそろそろできそうです！来年度も頑張っていきたいと思います。

### 紙すき体験と環境 AT

来年度の課題として、紙すき AT のメンバー全員がパワーポイントを使っでの説明を出前授業で出来るようになる事と、「雑紙の紙すき」など再利用の可能性を研究し挑戦して行きたいと思っています。

### マイ食器啓発 AT

マイ食器啓発活動について来年度の計画を話し合いました。一緒に活動してくれる方募集中です。

# エコプロ 2023（第 25 回）見学報告

市民研究員 吉田竹文

## 1.エコプロの概要

2023 年 12 月 6 日(水)～8 日(金) に東京ビッグサイトで開催されたエコプロ 2023（第 25 回）の見学報告を記します。

エコプロは、環境や SDGs への取り組みを企業や学生に直接 PR できる大規模環境展示会です。

主催は、(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社。432 の出展があり、来場者数は、66,826 人でした。

展示会の特徴は、協会や学校等の団体が多く幅広い業種の企業が出展していること。教員引率で小・中学生が多数見学に訪れていたり、家族連れ等の一般来場者が多いこと。各団体が配布する景品が多いこともあり毎年盛況です。

一般来場者が多いこともあり、展示内容は初見でもわかりやすく展示されている企業・団体が多いです。あくまで個人的感想ですが一日いても飽きないと思います。

2024 年は 12 月 4 日（水）～6 日（金）に開催されます。東京観光も含めて是非参加されてみてはいかがでしょうか？（2023 年は、オンライン展も並行開催されていました。）

## 2.出展団体の紹介



### 1) 発泡スチロール協会

発泡スチロール容器を高く積み上げる「スタッキングボックス」の展示。

技術向上、正確な作業の確率、安全意識の高揚を目的に競技会『スチレンピック』が 2016 年より開催されているようです。

容器が何段も積み上げられていく様子を見てみると、ハラハラして目が離せなくなりました。

### 2) 日本容器包装リサイクル協会



ごみの分別の大切さ、容器包装リサイクルのしくみについて分かりやすく展示されていました。

協会が引取りリサイクルされた資源 125 万 t（令和 4 年）の内、下記 4 点の展示がされていました。

①ガラスびん：約 33 万 t、②PET ボトル：22 万 t、③紙製容器包装：2 万 t、④プラスチック製容器包装：68 万 t

④のプラスチック製容器包装の量が圧倒的。

### 3) 日本バイオプラスチック協会



海洋性分解性プラと生分解性プラ、バイオマスプラの 3 つの識別表示制度を紹介していました。バイオプラスチックは、①生分解性（植物由来のもの）と石油原料由来のものがある

②バイオマスの2種類があるようです。

説明員の方の話を聞いたところ、バイオマスではない製品と比べると価格が高いことが課題で、普及するにはまだまだ課題が多いとのことでした。

それは、日本は他国から比べ焼却施設（インフラ）が発達していることが大きいようです。

### 3.最も印象に残った団体「東京都トラック協会」

展示会の中でも特に印象に残った「東京都トラック協会」の取り組みについて紹介します。協会の方にこれまでの取り組みを伺いました。

#### ★取組内容

＊グリーン・エコプロジェクト（2006年から）

→各ドライバーが手書きで記入した（あえて手書きで走行記録表をつけている）「走行記録表」から燃費を収集し車両データと紐づけ分析をすることで、エコドライブの実践に活用している。

＊東京都貨物輸送評価制度（2013年度より本格実施）

→東京都が実施している制度。貨物運送事業者を実走行燃費で評価する、世界初の試み。



ディーゼル車に対する排ガス規制。石原都知事（当時）が黒い粉の入ったペットボトル（粒子状物質・PM）を定例会見で振りかざした姿を覚えている方もいると思います。

当初は規制に適合する為の車両改修や買い替え費用負担の増加や、各ドライバーの聖域であるトラック内部に踏み込む施策の為、反発が強かったそうです。しかし、徐々に自身にもメリットになる取り組みであることがわかると積極的に改善をするようになっていったとのこと。その結果が毎年の数値にも出ているようです（図17年間の実績参照）

協会の方の話を聞いて感じたのは、自分事として当事者意識を持ち取組むことの大切さです。デジタル機器の発達で自動運転や自動データ分析も今後は可能になっていくと思います。

しかし、トラックを運転するのは、まだ人間です。ドライバーの日々の小さな改善の積み重ねにより燃費が大きく左右されます。話を聞くまでは、トラック協会でこのような取り組みを実践されていることを知りませんでした。

#### 4.最後に

私が所属している市民研究所のプロジェクトチーム『市民とお店をエコでつなぐPT』では、プラごみの問題に対して議論をしています。

私自身、日々プラスチックの恩恵に預かっており、扱いやすいプラスチックの利用は今後も避けられないと思います。

今回参加したエコプロでは、多くの発見と気づきがありました。各々で活躍されている方々の知見を知る為、今後も展示会や講演会に参加したいと思います。

多品種・大量に発生するプラごみに対し、自治体・企業まかせにするのではなく私自身、当事者意識を持ち自分事として行動する為の仕組みを市民目線から考えていきたいと思います。

（市民とお店をエコでつなぐPT）

## 「子どもを救え」

主担研究員 内田慶市

今年は日本列島は正月元旦から大変な災害に見舞われた。能登半島地震と航空機事故である。特に、能登半島地震の被害は甚大である。一日も早い復興が望まれる。それにしても、もし原発が志賀町でなくて珠洲市や輪島市にあったらと思うと本当にぞっとする。元々珠洲市に置かれるはずであった原発は住民の反対で志賀町に移ったという経緯がある。そもそも北陸のこの一帯は活断層が縦横に走っている場所。わざわざそんな所を選んでとってしまう。志賀原発だけでなく敦賀原発や美浜、大飯原発等でも同様である。しかも、問題は今回でもそうであるが、電力会社が情報をとにかく正確に伝えようとせず、隠蔽しようとする体質である。例えば、当初異常は全く認められないとしていたのに、その後、五月雨式に 3m 水位が上がったとか、外部電源を受ける変圧器の故障や油漏れ、燃料プールの水漏れ、避難計画策定での避難路の寸断……。これでは彼等の言うことは信じたくても全く信じられなくなるではないか。不信感が漂うばかりである。しかも、メディアがこの問題をほとんど取り上げようとしないことも大きな問題であろう。臭いものには蓋、長いものには巻かれろ、の傾向が今のメディアには少なからずあるように思えてならないのだ。

この国はどうやらフクシマを忘れてしまったようだ。そうでなければ、耐久年数の過ぎた原発をいともたやすく、なし崩し的に再稼働をするはずはない。しかも、この立地である。安全神話はフクシマですでに消失したはずではなかったのか？

台湾ではアジアでは唯一、原発廃止を打ち出したが、持続可能な社会の実現のためのクリーンなエネルギーはどうあるべきかもう一度真剣に議論する必要がある。

また、この国の電力は本当に足りていないのかという根本的な問題にも私たちは正面から向き合うべきである。

確かに電気がない生活は考えられない時代である。実際、今回の地震でも一番困ったのが水と電気であった。この 2 つがないとにっちもさっちもいかない状況になる。それはその通りだが、一方で、私たち日本人は、かつては「蛍の光」や「窓の雪」も明かりを採る手段として利用してきた。唐代の詩人李白の「床前看月光 疑是地上霜 挙頭望山月 低頭思故郷（床前月光を看る、疑うらくは是地上の霜かと、頭を挙げて山月を望み、頭を垂れて故郷を思う＝ベッドに横たわっていると月の光が差し込んでくる、それはまるで地上に降りた霜のようだ、顔を上げて山の上の月を眺めながら、頭を垂れて故郷を思う）」の詩は電気の明かりでは生まれなかったはずである。「すだれ」や「よしず」、そして「打ち水」に「縁側での夕涼み」「うちわ」「西瓜」はまさに夏の風物詩であり、それで涼を感じたはずなのである。

エコとか SDGs を声高に叫ぶ前に、「今ある便利さがなくなってもいいですか？」という問いに対して「はい、それでも構いません」と答える勇気が必要なのではないかと思うのだ。なぜなら、それはひとえに、これからの未来を担う子ども達によりよい環境を残すためであるからなのだ。「子どもを救え」とはかつて魯迅が残した言葉であるが、今の時代にあってこそ、それが私たち大人の責務ではないかと思うこの頃である。



# 市民研究所通信

2024年2月1日(木)に千里高校の「国際シンポジウム」に、市民研究所主担研究員の金子泰純先生が講師として招かれました。

「国際シンポジウム」は、3日間開催された同校の「千里フェスタ」の初日のイベントで、英語による研究発表・報告と発表を受けてのミニ講義が行われました。

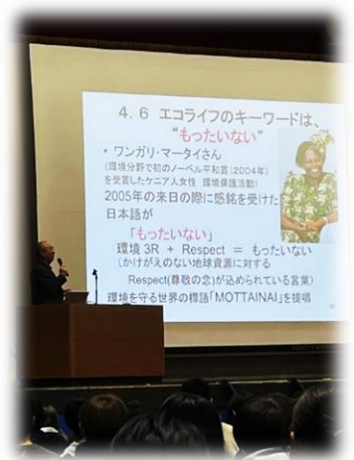
研究発表・報告のテーマは、留学生3人の「私が驚いた文化の違い(Surprising Cultural Differences)」と2年生2組の「食品廃棄物の活用(Using Food Waste)」です。1年生と2年生全員(約5百人)が体育館に集まり、発表に対して2分間で質問を考え英語でパソコンに入力するという方式でのディスカッションでした。今の時代は当たり前の事なのかも知れませんが、千里高校の生徒さんは英語での発表内容を全員理解出来ている事に驚かされました。



金子先生のミニ講義は、今回の研究発表についてのアドバイスと「研究と言うのは好奇心があるかないかで、研究の成果が違って来る。まずは研究計画を立てて、研究しようと決めた理由をとことん考えることが大事。何事も疑問を持って接して欲しい。常に本当にこれでいいのか?と問いかけ、また人の意見を聴くことが大事だ」と話されていました。ことわざにある“好きこそ物の上手なれ”(If you are passionate about something, you will succeed.)と言うように、学生の皆さんへ金子先生

からのエールだなと感じました。

また、日本に来日されたケニアの環境保護活動家ワンガリ・マータイさんによって、「もったいない」という言葉から環境を守る標「MOTTAINAI」が世界に広められたというお話をされていて、改めて日本語っていいなあ～!と思いました。そして、この「もったいない」を啓発している、くるくるプラザの活動を、もっともっと世界に発信したいと気持ちが高まりました。



《事務局 玉江》

昨年のことですが、「市民とお店をエコでつなぐPT」の定例会で、研究内容の発信・伝え方や、プラごみのことが話題になりました。環境問題の深刻さや研究内容がどうすれば読み手・聞き手に伝わりやすいかということをお自分で考えているうちに、問題となっている物体の現物を見せるというのも一つの伝え方だと思い、手始めに須磨海岸でマイクロプラスチックを拾うことにしました。

磯辺篤彦著『海洋プラスチックごみ問題の真実』(化学同人 2020.7)を参考に、砂浜の砂に混ざっているマイクロプラスチックをバケツの中で水に浮かせ、ふるいに残ったものをピンセットで採取しました。



幅15~20mくらいの範囲で3時間ほど作業をしたところ、写真のようなプラごみが採れました。これらには、マイクロプラスチックの定義通り直径5mm以下のものと、それより大きなものも混在しています。包装フィルムの切れ端、プラ容器の破片、細くなった発泡スチロールなどなど、身近にあるプラスチック製品の成れの果てと思われ、これらがどのような影響を及ぼすのかいろいろと想像させられました。

問題となっている物を実際に見て、触れることが、これまでとは違った角度から考えるきっかけになり得ると感じ、今後の啓発活動の仕方にも活かしていきたいと思います。

《事務局 林》

## 研究所 3 月 の 予 定

| 日  | 曜 | 催し                   | 時間・場所        | 備考              |   |
|----|---|----------------------|--------------|-----------------|---|
| 1  | 金 | 定例会                  | 14:00～プラザ    | 紙すき体験と環境AT      |   |
| 2  | 土 | 第12回代表者会議            | 13:15～プラザ    | 主担・代表者・事務局      |   |
| 3  | 日 | 定例会                  | 13:00～プラザ    | 手作りおもちゃと環境AT    |   |
| 4  | 月 | 休館日<br>環境出前講座(クラブ支援) | 千里第一小学校      | SDGs啓発PT        |   |
| 5  | 火 | 施設案内員説明会             | 9:45～プラザ     |                 |   |
| 6  | 水 | 環境学習発表会連絡協議          |              |                 |   |
| 7  | 木 | 定例会                  | 14:00～プラザ    | SDGs啓発PT        |   |
| 8  | 金 |                      |              |                 |   |
| 9  | 土 |                      |              |                 |   |
| 10 | 日 | くるくる春フェスタ            | 10:00～プラザ    |                 | ● |
| 11 | 月 | 休館日                  |              |                 |   |
| 12 | 火 | 消防訓練                 |              |                 |   |
| 13 | 水 |                      |              |                 |   |
| 14 | 木 | 定例会                  | 14:00～プラザ    | ごみゼロシステム研究PT    |   |
| 15 | 金 | 研究運営委員会              | 14:00～プラザ講義室 | 役員・主担・市民研究員・事務局 |   |
| 16 | 土 |                      |              |                 |   |
| 17 | 日 |                      |              |                 |   |
| 18 | 月 | 休館日                  |              |                 |   |
| 19 | 火 |                      |              |                 |   |
| 20 | 水 | 休館日                  |              | 春分の日            |   |
| 21 | 木 |                      |              |                 |   |
| 22 | 金 |                      |              |                 |   |
| 23 | 土 |                      |              |                 |   |
| 24 | 日 |                      |              |                 |   |
| 25 | 月 | 休館日                  |              |                 |   |
| 26 | 火 |                      |              |                 |   |
| 27 | 水 |                      |              |                 |   |
| 28 | 木 |                      |              |                 |   |
| 29 | 金 |                      |              |                 |   |
| 30 | 土 |                      |              |                 |   |
| 31 | 日 |                      |              |                 |   |

## 研究所 4 月 の 予 定

| 日  | 曜 | 催し                                          | 時間・場所        | 備考                           |  |
|----|---|---------------------------------------------|--------------|------------------------------|--|
| 1  | 月 | 休館日                                         |              |                              |  |
| 2  | 火 |                                             |              |                              |  |
| 3  | 水 | 令和6年度も市民研究所の活動を精力的に行います！<br>市民研究員、絶賛募集中です！！ |              |                              |  |
| 4  | 木 |                                             |              |                              |  |
| 5  | 金 |                                             |              |                              |  |
| 6  | 土 | R6年度市民研究員委嘱状交付式<br>PT/AT全体会議及び各PT/AT定例会     | 13:00～プラザ    | 主担・事務局・市民研究員                 |  |
| 7  | 日 |                                             |              |                              |  |
| 8  | 月 | 休館日                                         |              |                              |  |
| 9  | 火 |                                             |              |                              |  |
| 10 | 水 |                                             |              |                              |  |
| 11 | 木 | 吹田市小学校4年生<br>施設見学説明会                        | 16:00～マルチホール | 小学校<br>エネセン・事業課<br>教育委員会・事務局 |  |
| 12 | 金 |                                             |              |                              |  |
| 13 | 土 |                                             |              |                              |  |
| 14 | 日 |                                             |              |                              |  |
| 15 | 月 | 休館日                                         |              |                              |  |
| 16 | 火 |                                             |              |                              |  |
| 17 | 水 |                                             |              |                              |  |
| 18 | 木 |                                             |              |                              |  |
| 19 | 金 |                                             |              |                              |  |
| 20 | 土 |                                             |              |                              |  |
| 21 | 日 |                                             |              |                              |  |
| 22 | 月 | 休館日                                         |              |                              |  |
| 23 | 火 |                                             |              |                              |  |
| 24 | 水 |                                             |              |                              |  |
| 25 | 木 |                                             |              |                              |  |
| 26 | 金 |                                             |              |                              |  |
| 27 | 土 |                                             |              |                              |  |
| 28 | 日 |                                             |              |                              |  |
| 29 | 月 | 休館日                                         |              | 昭和の日                         |  |
| 30 | 火 | 休館日                                         |              | 振替休日                         |  |

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。